

**原子力システム研究開発事業  
中間評価総合所見**

<p>研究課題名：核変換システム開発のための長寿命 MA 核種の高速中性子捕獲反応データの精度向上に関する研究</p> <p>代表研究者（研究機関名）：片瀨 竜也（東京工業大学）</p> <p>再委託先研究責任者（研究機関名）：岩本 修（日本原子力研究開発機構）</p> <p>再委託先研究責任者（研究機関名）：堀 順一（京都大学）</p> <p>研究期間：平成 29 年度～令和 2 年度（4 年計画）</p>	
項 目	要 約
1. 研究の概要	<p>核変換システム開発に必要とされる高速中性子エネルギー領域におけるマイナーアクチニド（MA）の中性子捕獲断面積の精度向上を目指し、高速中性子エネルギー領域での捕獲断面積データを高精度に測定できる技術を開発するとともに、これを適用した断面積測定結果を反映した核データ評価を行うことにより、信頼性の高いデータを整備することを目的として、以下の研究開発を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 中性子フィルター装置の開発</li> <li>2) NaI 検出器を用いた中性子捕獲断面積の測定</li> <li>3) MA 試料中の Pu 分析技術の開発</li> <li>4) MA 核データファイルの整備</li> </ol>
2. 総合評価	<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>高速中性子エネルギー領域の MA 中性子捕獲反応データの高精度化は、核変換システムの開発にとって重要であり、本研究によって貴重なデータが得られることに期待ができる。</p> <p>当初目標の達成が見込まれることから、更なる精度向上を検討していただきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>S) 極めて優れた成果があげられている</li> <li>A) 優れた成果があげられている</li> <li>B) 一部を除き、相応の成果があげられている</li> <li>C) 部分的な成果に留まっている</li> <li>D) 成果がほとんどあげられていない</li> </ol>